

東海道線の宿場8駅に 浮世絵パネルを設置します

JR東日本横浜支社では、このたび、鉄道発祥とゆかりの深い「東海道」に着目し、かつて宿場があった東海道線8駅に、歌川 広重「東海道五拾三次」の浮世絵パネルを設置します。

ご利用のお客さまに沿線の歴史や文化を感じていただくとともに、今後、自治体や地元と協力し、旧東海道に関わる施策などに取組んでまいります。

1 浮世絵パネル概要

原 画：歌川 広重「東海道五拾三次之内 川崎～小田原」（保永堂版）

大きさ：B0サイズ（1.4m×2.0m・浮世絵部分）

絵本体：アルミ3mm厚+ダイレクト印刷

額縁・銘板・演出照明：仕様検討中

製作協力：公益社団法人 川崎・砂子の里資料館

神奈川県川崎市川崎区砂子1-4-10

<http://kawasaki-isagonosato.jimdo.com/>

2 設置駅・設置時期（展示作品名）

2016年10月 1日(土)	小田原駅	(小田原 酒匂川)
	川崎駅※	(川崎 六郷渡舟)
2016年10月 8日(土)	藤沢駅	(藤沢 遊行寺)
2016年10月16日(日)	戸塚駅	(戸塚 元町別道)
2016年10月22日(土)	平塚駅	(平塚 縄手道)
2016年11月 3日(木)祝日	大磯駅	(大磯 虎ヶ雨)
2017年 1月予定	東神奈川駅	(神奈川 台之景)
2017年 3月予定	保土ヶ谷駅	(保土ヶ谷 新町橋)



設置イメージ（大磯駅）

※川崎駅は、駅改良工事のため、工事用仮囲いへシート状のものを仮設置いたします。（工事の進捗により移転等が発生する場合があります）なお、駅改良工事終了（2018年度を予定）後に浮世絵パネルを本設置する予定です。

3 その他

パネル設置にあわせ、設置各駅の地元自治体や団体等による旧東海道に関わるイベントなどに協力し取組んでまいります。具体的に決まり次第、駅などにてお知らせいたします。